



令和3年2月24日
海上保安庁

練習船「こじま」模型をIMOへ寄贈 ～海上保安庁総務部参事官がIMO事務局長を表敬～

令和3年2月23日、海上保安庁は、国際海事機関（IMO）に海上保安大学の練習船「こじま」の模型を寄贈しました。英国ロンドンにあるIMO本部のメインロビーには、世界各国から寄贈された多くの船舶模型が展示されており、今回初めて日本政府船舶の模型が展示されることとなります。贈呈式は、栗井次雄海上保安庁総務部参事官がキータック・リムIMO事務局長との間でオンラインにより実施されました。

国際海事機関（IMO）は、海事分野の諸問題についての政府間の協力を促進するために設立された国連の専門機関で、海事分野の国際的なルール作りを行っています。世界の主要な海運国・造船国である我が国は、国際機関の場で積極的な活動を行っており、海上保安庁もIMOの委員会等に出席し、条約の改正や新たな航路の提案等、国際議論に貢献しています。

英国ロンドンにあるIMO本部のメインロビーには、世界各国から寄贈された多くの船舶模型が展示されており、今回、海上保安庁巡視船の模型が日本政府所属船舶として初めて展示されることとなります。

海上保安大学の練習船「こじま」は、平成6年に行われた初めての世界一周遠洋航海以降、これまでロンドンに計8回寄港し、実習生等がIMO本部を訪問しており、海上保安大学創立70周年の節目にあたる今年、IMOへの「こじま」模型贈呈が実現しました。

寄贈された模型は、練習船「こじま」の1/100サイズの模型で、岡山県倉敷市在住の模型専門家の方が作成し、海上保安大学に寄贈され、海上保安資料館に展示されていたものです。



練習船「こじま」



練習船「こじま」の模型

今回の寄贈に際し、令和3年2月23日、栗井次雄海上保安庁総務部参事官がキータック・リムIMO事務局長に対してオンラインによる表敬を行い、国際海事行政に関するIMO事務局の貢献に敬意を表し、リム事務局長からは、海上保安庁によるIMOへの貢献及び今回の模型寄贈に対する謝意が示されました。

<表敬の様子>



キータック・リム
IMO事務局長

粟井次雄
海上保安庁総務部参事官



<IMO本部（英国ロンドン）>



IMO本部メインロビー



展示されている練習船「こじま」の模型